

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」北習志野 校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		法令に順守しており、1 時間に 2 名までの受け入れ、支援ブースを区切り 2 か所設けています。	
	②	職員の配置数は適切である		3	法令遵守し人員基準に則っていますが、現時点で児童発達支援管理責任者の不在、少ない人員体制でご利用者様にはご不便・ご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありません。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3		臨機応変に支援ブースを区切ることにより、児童の特性に合わせた対応をしています。また、空間を仕切ることにより集中力を高めやすい環境となっています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		日々の業務の中で、清掃時間を設けており、清潔な空間を心がけています。感染症拡大防止対策として、常時窓を開けての換気、支援時間の合間での消毒作業を実施しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3		定期的に会議を行い振り返ることで、適切な目標を設定し活動しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		年に一度実施する保護者からの事業評価をもとに、頂いたご意見に対し事業所内で話し合い、出来るところから改善に向けて努めています。	12 月初旬に、令和 3 年 11 月までにご利用された方を対象に事業所評価を行わせていただきました。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、	3		評価の集計結果をホームページに掲載すると同時に、支援スペースにもファイリング	

		その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している			したものを用意、保護者がいつでも閲覧できるように対応いたします。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		利用者・社内の2者評価を実施しています。	昨年度より療育支援化による巡回訪問にて保育士資格を有する方からのご意見を頂戴し、今後のサービス提供の改善へとつなげてまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		自教室による事業所内研修、他教室との連携による事例検討会、発達支援研究所によるテーマ研修など定期的実施しています。県・市主催の研修に参加することで個々のスキルアップ、支援の質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3		日々のフィードバックの中で保護者と話すことによるアセスメントも行っております。	半年に一度、事業所内で会議を記録として保管しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			初回アセスメントシートに加え、定期更新の書式を使用しております。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3		「発達支援」では具体的な支援内容（家庭環境・地域における立ち位置を踏まえ、今何をすべきか話し合い、目標を決め内容を設定）を記載しています。	「家族支援」・「地域支援」に関しては、必要に応じて今後は文章表現としてもう少し盛り込んでいき、ガイドラインに沿った項目を設定いたします。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3		指導員によってばらつきが出ないよう、支援のたびに支援計画を確認し、計画に基づいた支援プログラムを行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2		基本的には一人一人がプログラムを考えていますが、指導員間でしっかりと情報を共有し、支えながら日々支援を行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2		同じ指導員が続くことがないよう調整した上で、以前の支援記録を確認し継続支	

				援の下実施しているプログラム以外は内容が被らないように配慮しています。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	1	1		保護者・児童の希望に添えるよう、時間等を工夫して小集団の時間を設け他社とのかわりを学べるよう行ってまいります。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	1	毎朝朝礼を行い、前日の引継ぎや当日の注意点、シフト調整などスタッフ全員で共有しています。	どのようなねらいをもって課題を組んでいるのかなど、より詳しく職員間で共有しています。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2		当日、もしくは翌日に引き継ぎや保護者の話、気になったこと、変化などについてスタッフ全員で共有しています。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2		支援記録はできる限り当日のうちに記入することとし、日々の支援の記録から指導員同士で改善点等を共有しています。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	2		児童発達支援管理責任者が不在の状況ですが、利用児童に対し計画の見直しについてモニタリング会議を行っていきます。	遅れがないよう計画的に進めてまいります。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2		相談員からの呼びかけに対し、管理者・実際に支援を行っている指導員が参加をしています。	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		2		現時点では行っていませんが、必要に応じて連絡票を用いる等情報共有できる体制を整えてまいります。
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		2	医療スタッフがいないため、医療的ケアが必要な児童の受け入れに際しては、主治医等の意見書を確認したうえで慎重に判断し対応いたします。	
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)		2	医療スタッフがいないため、医療的ケアが必要な児童の受け入れに際しては、主	

関係機関や保護者との連携

	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			治医等の意見書を確認したうえで慎重に判断し対応いたします。		
②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	1		現時点では行っていないが、必要に応じて連絡票を用いる等情報共有できる体制を整えてまいります。	
②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	1	保護者が間に入り、保護者自ら伝えていきます。	現時点では行っていないが、必要に応じて連絡票を用いる等情報共有できる体制を整えてまいります。	
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2			今後必要に応じて共有いたします。	
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2		実施の予定はございませんが、必要に応じて利用家族を通し保育園や幼稚園等と関わる機会に向けて検討いたします。	
②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	2		療育児施設会議への参加が現状できていませんが、不定期であっても参加できるように調整してまいります。	
③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		支援後のフィードバックの時間に、支援の様子や最近のお子さんの様子を話し、保護者との情報共有を行っています。		
③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	2	フィードバック内でお子さんの接し方などの相談を受けた時は、その場でお答えすることもあれば、職員間で共有した後にお話しすることがあります。	保護者への家族支援プログラムとしては行っていないが、どのように進めていくのか研修・学びの機会（会社全体としての取り組み）を探し、スキルアップにつなげてまいります。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		面談や契約時に管理者が丁寧に伝えています。また、フリースペースに資料等を閲覧できるように設置しています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3		面談で話したことを基に支援計画の原案を作成、体験の際に保護者に意見を求め確認しながら本案を作成、提示し説明を行って	

				ます。必要な場合は手直しを行い、承諾を得ています。		
③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		フィードバック時に最近困っていることなど伺い相談に応じています。	研修に参加するなどし、知識を高めより良い助言や支援ができるようにいたします。	
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	現時点では保護者向けの会などを開催することはできていません。	小集団イベントなどの際、保護者スペースを確保し交流の場として提供してまいります。	
③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3		要望に対して、まずは傾聴し迅速に取り組めるものから順次取り掛かり対応しています。	今後さらに周知していき、よりよい信頼関係が築いていけるよう対応いたします。	
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		ホームページの校舎ブログは月1で更新し校舎のイベント情報などを発信しています。		
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	3		個人情報に記載されているものに関しては鍵付きのロッカーに保管しています。書類などに関しては他利用者の目に触れないよう配慮しています。	支援中の事務机上のパソコンや個人ファイル等の管理方法をスタッフ間で確認し気を付けてまいります。	
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		目線を合わせる、紙（ホワイトボード）に書く等、お子さんの状態に合わせて配慮しています。		
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	地域に開かれた事業所運営は行えていません。	近隣地域とも関係性が構築できるような意見を出し合っております。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		マニュアルを研修や毎月の防災訓練で確認し、発生を想定した訓練を実施しています。	保護者向けにフリースペースにマニュアル関連資料を設置しています。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		月一の防災訓練を実施しています。（職員のみ）	職員だけでなく、お子さん保護者を交えた防災避難訓練を計画、実際に避難先まで移動することで危険箇所を把握し、災害時を想定した引き渡し訓練を実施しています。

④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3		面談の際に書類に記入をしていただいています。	お子さんの基本情報を一覧で表で管理し、定期的の確認をしております。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		2	食事は提供していませんが、面談の際にアレルギーなど書類に記入していただいています。	食べ物に限らずアレルギー全般や服用している薬等についても一覧表で管理しています。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2		ヒヤリハットが起きる度に報告書を作成し、事業所内で改善点を話し合い情報共有しています。 自校舎だけでなく他校舎の事例もファイリングし、危機管理意識を高めています。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2		マニュアルを策定しスタッフ間で情報共有をしています。 事業所内外で虐待についての研修を受ける機会を設けています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2		身体拘束についての情報共有はできていますが、支援計画内に拘束に関する記載は盛り込まれていません。	虐待に関する考え方が厳しくなってきた現在の、しっかりと理解したうえで対応してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北習志野校

保護者等数（児童数）：19 回収数：13 割合：68%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	2	0	0	もう少し体を動かせるスペースがあるといい。 子どもの活動に合わせて広くとっていただいている。	身体を動かす際は、パーティションを動かし、十分なスペースを確保するなど、安全に配慮いたします。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2	0	1	人数も十分確保していただいている。	支援させて頂くという気持ちを忘れずに特性について学ぶなど知識向上を心がけてまいります。専門性を磨き、メリハリをつけた支援を提供いたします。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	2	0	0	危険も少なく安心してできるスペースとなっている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	0	0	0	とても明るく清潔な空間で安心して活動させることができる。	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12	0	0	1	とても親身になり状況を聞いてくれて計画を作成することができた。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	0	0	1		日常生活の充実につながる活動（発達に応じて必要となる基本的な生活動作）と遊びなどの活動を通して成功体験の積み重ねに配慮し支援内容を設定しています。 家族支援・地域支援に関しては必要に応じて文章表現として支援計画に盛り込んでいきます。

	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1	0	0	まだ回数が少ないが、子供の成長が見られている。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	2	0	0	毎回違うプログラムで子どももあきず出来ている。 柔軟に組み合わせで支援されていると感じているので、ある程度の固定化は問題ないと考えます。	引き続き、お子さんそれぞれに見合ったプログラムを検討してまいります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	0	7	4	他の園などの機会がまだないので機会があれば。 現時点で交流を希望していないため問題なし。	必要に応じてきりができることを検討してまいります。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0	丁寧な説明があり安心できた。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11	0	0	2	丁寧な説明があり安心できた。 現在の支援計画には満足しているが、児童発達支援管理責任者が不在の期間があるのが適正なのか疑問。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	4	5	0	こちらから相談をしたことがないため、自宅では特別なことをしたことがありません。 家族支援プログラムの存在を知らなかったため、そういった機会があるといいと思います。	事業所内で家族支援プログラムの研修が受けられる機会（会社全体としての取り組み）を模索し、スキルアップにつなげてまいります。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	4	1	0	毎回終わる時にその日の様子やアドバイスをいただけて安心している。 限られた時間のため、共通理解の時間が取れないのはある程度仕方ないと	引き続き、感染症拡大対策のためフィードバック用紙を用いてのフィードバックを行ってまいります。 必要に応じて電話やLINEでのフィードバックや保護者様のお話を傾聴する

						考えているが、もっとコミュニケーションを取るべきと考えます。	る機会を設けるなど体制を整えてまいります。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	0	4	0	限られた時間のため、共通理解の時間が取れないのはある程度仕方ないと考えているが、もっとコミュニケーションを取るべきと考えます。	フィードバックの際に、気づいた点や今後へのアドバイスなどお伝えする機会を設けていきます。また、必要に応じて電話や LINE でのフィードバックや保護者様のお話を傾聴する機会を設けるなど体制を整えてまいります。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	8	2	保護者機などの機会があれば参加してみたい。 保護者会などの保護者同士の連携はないと聞いているため特に問題なし。	外部機関のサポートを探すなど、保護者が集まり話をする機会を設けていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	2	0	3	事前の心配ごとなどを共有していただき、不安なく毎回入ることができる。相談・申し入れをしていないため、どちらともいえない状況。	頂いたご意見に対して適切に対応するため、体制を整えてまいります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1	0	1	事前の心配ごとなどを共有していただき、不安なく毎回入ることができる。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	3	1	6	他の教室の状況もこれらにより（ホームページ等）発信があるといいと思います。	校舎ブログの更新や、LINE 等の SNS を通じ保護者へ通知し、校舎の取り組みなどをお伝えしてまいります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	0	0	1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	2	0	2	実際には参加していないが、〇日に訓練予定のお話は聞いています。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	2	1	3	実際には参加していないが、〇日に訓練	

							予定のお話は聞いています。	
満足度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0	0	毎回すごく楽しみにしています。 とても楽しみにしております。 とても楽しみにしており、扉が開くのが待ちきれない。	引き続きお子様が楽しんでいただけるプログラムを提供いたします。
	③	事業所の支援に満足しているか	11	1	0	0	幼稚園や家庭で今までどのような状況なのかゆっくりお話しする時間はないように感じます。コロナ禍だからですか？ とても満足している。	引き続きお子様が楽しんでいただけるプログラムを提供いたします。 必要に応じて電話やLINEでのフィードバックや保護者様のお話を傾聴する機会を設けるなど体制を整えてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。